

～自然由来のエネルギー利用で、地球や家計に優しく、災害にも強い生活を～

環境政策課

☎042-481-7086

4月から

住宅・事業所等に対して太陽光パネルなどの
設置を促進する制度が始まります

市内で排出される二酸化炭素の約8割が住宅やビルなどの建物からです。

市民や事業者の皆さんが建物の新築やリフォームなどを行う際に、自然由来の再生可能エネルギーを利用した設備である太陽光パネルなど*の設置に努めていただくため、市は4月から「調布市建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度」を開始します。

※本制度は、太陽光パネル以外に、太陽熱を活用した給湯または空調システムも対象

リフォーム
する予定だけど太陽光パネルの設置
どうしようかな？

太陽光パネルの市内の設置容量は、設置可能ポテンシャルの約3%(都内平均と同水準)に留まっています。

制度が始まるとどうなるの？

制度の導入により、市内全域で次の3点の措置が適用されます。(詳細は市HP参照)

市HP▶



1 設置促進に向けた支援

太陽光パネルなどの広報・啓発や補助金などによる支援を行います。



市職員

2 設置規制の緩和
(建物に関する規制の特例許可)

建築基準法上の高さ制限・建ぺい率制限などを緩和し、より柔軟に設置しやすくします。

3 建築士(設計士)による
説明義務制度

建物を新築・増築する際に、建築士から書面で設置可能な設備の種類・規模の説明が行われます。



建築士



太陽光パネルの導入効果



災害時に強い

停電時も電気の使用ができます。蓄電池もあれば冷蔵庫なども利用でき、夜間も電気が使えます。



電気代を削減

4kWのパネル設置の場合、一般家庭年間電力量の約8割程度の発電量が期待できます。

CO₂削減に貢献

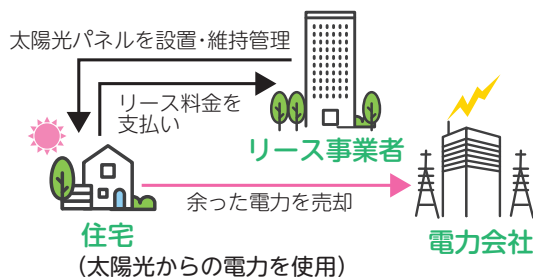
自然由来のエネルギーを使うことで、二酸化炭素の排出削減につながります。

初期費用0円での導入方法

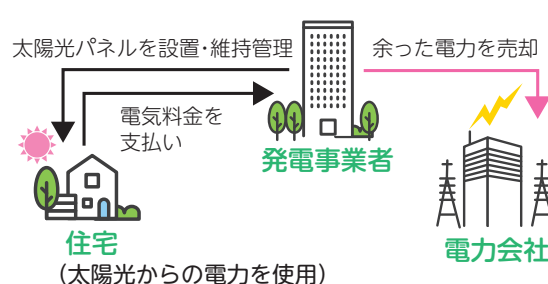
住宅所有者が初期費用(4kWの場合、全国平均約120万円)を支払い設置する「自己所有」のほか、リース事業者が設置する「リース」や、発電事業者が設置する「オンサイトPPA」など、初期費用0円・月々の支払いで設置できる方法があります。

太陽光パネルなど
太陽光発電の詳細はこちら

リース



オンサイト PPA



補助金などの支援

都や市の補助金は、太陽光パネルなどに加え、蓄電池の設置に対しても補助を行っています。

令和7年度の市の補助金は、3月末頃に市HPで案内予定

太陽光と蓄電池は
セットで設置の
検討を！

設置した市民の声など

実際に設置した市民へのインタビューや太陽光パネルの疑問にお答えしています。

広報紙ゼロカーボンシティ
ちょうふHP▶

4月から始まる

建物に関する制度

● 都内の新築住宅で
太陽光パネルの設置などを
促進する制度が開始

大手ハウスメーカーなどの事業者が新築する建物に対し、太陽光パネルの設置や断熱・省エネ性能などの確保が求められます。



東京都HP▶

● 4月から全ての新築住宅などに
省エネ基準適合が義務付け

建築物省エネ法の改正により、原則、全ての建築物に、省エネ基準への適合が義務付けられます。

● 木造戸建ての建築確認手続きなどを
見直し

建築基準法の改正により、建築確認・検査対象が見直され、木造2階建ての構造・省エネ関連の図書が必要になるなど、建築主・建築士(設計士)の皆さんが行う確認の手続きが見直されます。

● 4月から木造戸建ての
大規模なリフォームが建築確認の対象

二階建ての木造戸建住宅などで行われる大規模なリフォームで4月以降に工事着手するものは、事前に建築確認手続きが必要です。



国土交通省HP▶

(建築指導課)

調布 FM83.8MHz 市政情報番組
「調布市ほっとインフォメーション」月～金曜日 午前9時15分～、午後1時30分～、4時～、9時～(各15分) / 5時30分～(5分) 土曜日 午後5時30分～(5分)
日曜日 午後3時30分～(5分) ※放送が休止・時間変更になる場合あり。インターネットでも聴取可。詳細は調布FM参照